

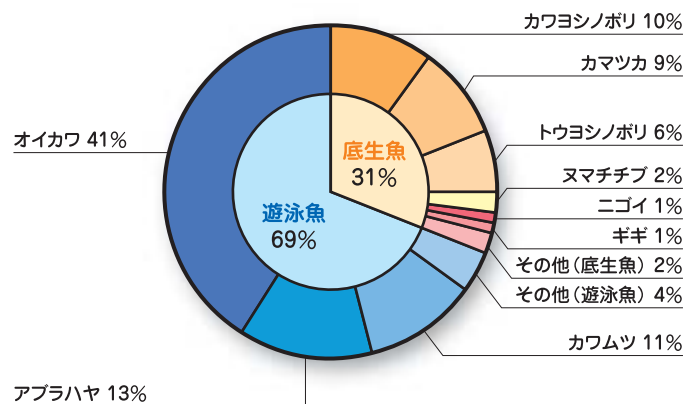
## ⑤ 上流域の魚たち

### 船明ダム～静岡県境

上流域は瀬と淵が交互につらなり、大きな岩や石があります。この区間では淵が多く、このような淵の環境を好む魚たちが見られます。また、オイカワなど一生を川ですごす純淡水魚が多くの割合を占めています。

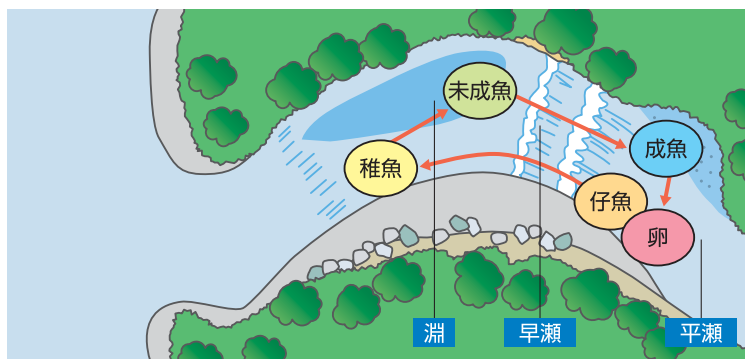
上流域に位置する中部大橋では、オイカワ、アブラハヤなどの遊泳魚、カワヨシノボリ、カマツカ、トウヨシノボリなどの底生魚がよく見られます。

この付近では、スナヤツメ、シマドジョウなどの貴重な魚も確認されています。



中部大橋の魚類確認状況(魚種別の個体数割合)

※データ集計期間:平成15年4月～平成17年3月



純淡水魚(オイカワ)の生活

## 淵

～上流域で特徴的な環境～

### ●上流域の淵にすむ生き物

淵にはアブラハヤ、カワムツ、スナヤツメのほか、大型のコイやニゴイなどがすんでいます。一方、淵の反対側にできた砂底にはシマドジョウ、カマツカなどが見られ、さまざまな幼魚が大きくなるまでの成育場所として利用しています。

また、砂や泥の川底にはキイロカワカゲロウなどの底生生物がすんでいます。

